

懇談内容

【駒形サロンひばり会】

令和6年10月28日

村道等維持補修補助金について

●Tさん
みんな高齢になってきて道路掃除等が大変になってきている。除草剤等の費用も該当するののか。

●関根猛議員

村は各行政区の区長から要望が出た場合に上限20万円を限度として支給している。除草剤が欲しい等の要望であれば区長に相談していただければと思う。

●Kさん
20万円が支給されることは知っていたが、草だけでなく木が被さっている。それを切るというても若い人がいない。年寄りでは危なくて切れないし業者に頼めば20万円ではあがらない、という繰

り返しになる。また、手続きを省略してお金を出してもらえると助かる。

●佐藤孝雄議長
執行側に政策として訴えていく。



支障木伐採の様子

移動販売車について

●Kさん

私たちがいずれば車を運転できなくなる。それは買い物に行きたくても行けないということ。移動販売車が来てくれることは一番に希望すること。商工会でもそういうところを力を入れてもらえればと期待する。

●根本定雄議員

行政の方も今検討に入っている段階。曜日を決め、一人暮らしのところ

を中心に、安否確認をしながら移動販売をしてほしい等、村に申し上げてきた。

●佐藤孝雄議長

村の高齢化率も約40%近くになってきている。一般質問でも出されているので、執行側にも要望を出していく。

村の福祉バスの利用について

●Sさん

村内しか利用できないのか。例えばサロンで温泉に行く際利用できるのか。

●高橋七重議員

空いていれば利用できる。と聞いている。村外であつても大丈夫。ただ条件がどうなのかは不明。

●社会福祉協議会 鈴木さん

サロンで行く場合には、村で助成金としてガソリン代等を出すので、村内だけとしている。

●佐藤孝雄議長

どこまで利用できるの

か担当課に確認し、返答は後ほどお知らせしたい。

▼村の要綱からの抜粋

平田村中型バス・マイクロスバス使用方法（詳細は平田村ホームページ↓例規集↓中型バス・マイクロスバス運行管理要綱を確認）

①使用団体…平田村又は平田村の機関が主催、共催若しくは後援する事業等に使用する場合等

②使用料…無料（燃料費、有料道路通行料、有料駐車場料金等は実費負担）

③申請方法…使用許可申請書を2週間前までに役場総務課に提出

④使用内容

・バスの運行時間は原則8時30分から17時15分
・バスの使用は日帰りを原則とし、1日の走行距離は600kmまで
・1運行につき概ね11人以上乗車するものとする

※公務及び研修を目的とするものを原則とする

西山小学校温泉施設建設について

●Kさん

西山小学校を温泉施設にするような話が出ているようですが、進み具合はどんな感じなのか。

●佐藤孝雄議長

その件については、数名の議員が一般質問をしている。村長の答弁は選挙公約だから実施したいとのことだが、こういう形でやるということは議会には一切ない。議会は今の平田村を考えた時、村民の声を聞いて総括的にどうするかというのを議会の中で議論する。

「コミュニティバスについて

●Sさん

石川町あたりは走っている。村のバスを借り上げるとかでもいいが。コミュニティバスを走らせ

てもらいたいと思う。

●Kさん

実際いわき方面とか三坂あたりでもバスが走っているのを見る。よそで出来るかがどうして平田村ではできないのか。

●根本定雄議員

移動販売車もコミュニティバスも何年も議会の中で話がされている。何度やっても一向に前に進まない。一つは費用対効果とあるがお金の問題だと思ふ。お金の問題であればそれを何とか打破するのが我々議会の使命だと思ふ。

タクシー助成券について

●Kさん

台数がない。駒形から蓬田に出れば1回4千円になってしまふ。頼んでも蓬田から来るには時間がかかる。そう考えれば隣の人に頼んでということも出てくる。

●高橋七重議員

この事業に当初は350万円が予算化されてい

るが、実績としては170万円程度であり、半分以上の人はしか利用していないということ。小平の人たちにはなかなか利用してもらえない。この事業ができて7年になるが、あまり使われないということなので、そろそろ見直す時期ではないかとは言った。それなら村内に巡回バスを走らせた方がいいのではということも言った。

議員定数について

● Sさん

少し議員の数が多くはないかと言われているが。

● 吉田好之議員

昨年9月の定例会前から全員協議会を開催し、定数減にするのか現状とするのか全議員にアンケートを取った結果、令和6年3月執行の議員選挙までは定数の削減なしでやると決定された。

● 佐藤孝雄議長

皆さんの意見は定数削

減だろうということは聞こえてくる。財政的な面で削減と言われていることは分かる。これは議会のことなので2年間議論した中で早めに結論を出したい。



《要望》

● Sさん

議員の皆さんにはすぐく期待している。何か変わってくれるのではないかと。賛成議員ばかりと言われているところもあるもので、良いものには賛成してもらい、ダメなものにはきちんとダメだと言いい、良い悪いをきちんと判断して結論を出してもらいたい。

【上蓬田行政区】

令和6年11月9日

耕作放棄地について

● Yさん

田畑の耕作放棄地や荒廃農地について、平田村だけの問題ではないが、現在の村の取り組みは。

● 佐藤孝雄議長

国では10年後を見据え農業の在り方をどうするのか調査するため、各行政区で農業委員を中心に座談会を開催する。

● 吉田喜尚議員

遊休農地問題について、専業ではなくても兼業で出来ないかと一般質問した。私の仲間たち6人ぐらいたが、仕事をしながら野菜や米作りをしている。新たな遊休農地を活用しやって行きたいというグループがある。

● 佐藤孝雄議長

住宅の賃貸のように農地を貸したい人、借りた人のため所在地をきちんと整理し、農地を管理する中間的な役割が必要。

● Kさん

耕作放棄地、荒廃農地が352haの話があった。深刻な事態である。ここ何年かの間に北屋敷地区を含む3地区の法人化の整備事業の計画も進んでいるが、村はさつまいもを主軸とした大きな産地として行こうという議論を始めなければならない。個人経営では限度がある。行政とJAと生産者、生産組織が主幹作物の目標を立てて、それに対しての施設等の援助をしてもらえるような体制を議会でも議論し、進めていたきたい。

● 佐藤孝雄議長

地域の力が大切だと感じる。行政も議会も本気になって議論し、地場産業を伸ばしていくという形を、進めなければならぬと思う。

地域おこし協力隊について

● Yさん

基盤整備事業や農地集

約の関係とか時間がかかると思う。例えば地域おこし協力隊の西脇さんは、西洋野菜で6次化に向けて一生懸命活動している。農業に関心を持つ若い研修生を取り込むなど、移住定住に関心をもって活動している方。西脇さんのような地域おこし協力隊の力を借り、農業従事者を少しずつ増やし継続的に活動していただく。任期満了後も継続して村に定住してもらえよう。な、仲間を増やしていただき6次化商品開発など取り組んでほしい。

● 根本定雄議員

地域おこし協力隊というのは、車も報酬も全部国が負担することになっており移住が基本。村では西脇さんが12月で任期満了になる。

玉川村には現在16人の地域おこし協力隊がいる。いろんな分野があり農業関係だけではない。介護、保育園、村のPRなどいろんなメニューがある。

村にはこれに特化したパンフレットを作って欲しいと質問した。村には観光のパンフレットしかない。ホームページは村を知っている人しか開かない。

村営住宅について

● Yさん

上蓬田切山第2、第3住宅は老朽化が進んでいる。後川住宅も同じかもしれない。第2、第3住宅には現在22世帯が居住している。村としてはこのような傷んだ住宅をどのように管理していくのか。

● 佐藤孝雄議長

基本的に村は民間住宅を活用したいとの考え。

● 高橋七重議員

自治体が高いお金を使って住宅を造ることはしない。その代わり民間のアパート経営者に土地を提供し、住宅を建ててもらい、そこに住んでもらう。その際、低所得者には15,000円の家

賃補助制度を設け、民間住宅に住んでほしいということを村は言っている。

しかし私は、自治体は低廉な家賃で住民を住まわせなければならぬという義務があるので、このままでは低所得者は村に住めなくなってしまうのではないかと心配する。

●Yさん

公営住宅は必要ではないかと思うが。

●Uさん

民間賃貸住宅家賃補助を重点においているが実績が伴わない。その事業に重きを置いた場合、老朽化した公営住宅の建て替え事業が全然進まない。今心配されることはこの古い住宅を建て替えた方がいいのではないかということ。

●産業建設課長

現在老朽化している公営住宅（切山第二団地、切山第三団地、後川団地）については、新たな入居を受け入れず、退去され

た場合は、修繕はせず、取壊し等を検討している。

令和7年度は、蛇石単独住宅と役場脇の切山単独住宅の取壊しを予定し、当初予算で計上する予定でいる。

若者定住促進住宅は、移住定住を目的として建築された住宅であり、公営住宅法に基づいた住宅とは政策的に異なる目的の住宅である。

村営住宅については、すべてを民間に任せるのではなく、公営住宅法に基づいた住宅は、今後の需要を長期的な視点で推計し、次期の整備計画に反映させて、整理・除却・建替等検討していきたい。

ふるさと納税について

●Iさん

平田村は令和6年4月～9月までで31万2千円で最下位。前回の新聞報道でも最下位。平田村の特産品は何か。全国にアピールしているものは。

村はどのような位置付けでやっているのか。

●根本定雄議員

季節によってではあるがハバネロ、ゴボウチップ、自然薯くらいしかない。

●企画商工課長

ふるさと納税の民間サイトの活用として、楽天ふるさと納税の他、今年から「さとふる」も活用している。現在「さとふる」で返礼品は18件に伸びている。返礼品の調達については村内事業者の協力が不可欠である。今年6月に協力事業者の募集を行ったが、今後も村内事業者に協力をお願いし、返戻品の種類の増加を図りたい。

《要望》

●Eさん

三斗時切山線の道路拡張が、14・5年ずっとそのままだ状況。住宅もあり朝の混雑は結構すごい。早期に進めていただきたい。

●産業建設課長

三斗時切山線は過疎対策事業として過疎計画に記載されている。旧蓬田中学校正門から旧宗像商店までの区間については、一定程度の整備が完了しているが、旧パチンコ店から旧蓬田中学校正門の区間について、道路が傷んでいるため、今後は車道及び歩道の舗装修繕を計画し、予算確保に向けて事業を進めて行きたい。

《要望》

●Uさん

住民に配布されている防災マップについて、上蓬田の特徴として河川沿いに住宅がある。河川が氾濫した場合浸水区域がどこまで及ぶのかを事前に知る必要がある。現在の防災マップに洪水エリアや浸水エリアを含めていただきたい。

●総務課長

地区の状況を見ながら追加していきたい。

《要望》

●Eさん

行政区の連絡員をやっている。上蓬田は戸数が多く毎回すごい枚数になる。紙の無駄だと言われる。タブレットに移行出来たらと思う。

●吉田喜尚議員

今DX化ということで今まさに検討している。公式ライン等。しかし村民全員がラインをしているかという問題もある。タブレットも考えているという見解であった。

【ReBひらた】

令和6年11月10日

議員定数について

●Yさん

議員定数を人口比率によって決めている部分もあると思うが、現在の村の人口約5,400人、内有権者数4,600人、各町村と比べて、各行政区によって面積や人口も違うと思うがそういったことも含めて協議が必要ではないか。今までは旧村単位の蓬田地区、小平地区という2つの地区に分かれていた。今ひらた清風中と一つの中学校になったことにより「平田村」という考え方、捉え方をしていった方がいいのではと思っている。

●佐藤孝雄議長

全員協議会という場で議員定数をどうするのか検討し、早期に結論を出していきたい。このような意見を参考にしながら協議検討を進めていく。



● Eさん

現在12人いるが構成一
覧を見るとこれだけの役
職があって、重複した構
成でないといけないのか
なと思った。議員活動全
体として見た時に、削減
できる枠や委員会がある
のかどうか聞かせいた
だきたい。こういうところ
はスマートフォンでできると
いうところがあるのかど
うか。削減できる見込み
があるのかどうか。

● 佐藤孝雄議長

以前は常任委員会が3
つあり、現在は2つにな
った。定数についても16
人↓14人↓12人と削減し
てきた。これ以上委員を
減らすということはでき
ないのではないかと。定数
の問題で議員の中では、
今の定数が限度ではない
かという意見もあった。
一部事務組合議員は各構
成町村の議会から選出し
なければならない。削減
した場合は、構成上苦勞
するのではないかという
考えもある。

● 三本松和美議員

長い経験の中で言うところ、
人員がいると多種多様な
意見が出される。現人数
の12人で皆さんの意見を
議会に反映できればと思
っている。

● 高橋七重議員

古殿町、浅川町は削減
して3月で1年経過
する。減らした結果良か
ったところや悪いところ
があると思うので、それ
を参考にして2年目に結
論を出していくのも有り
なのかなと思う。

住民から議員定数を減
らせということが出てく
るといことは、議員の
活動がきちんと見える化
という形で届いていない
んだらうと思う。それは
悲しいことだと思ってい
る。

● 関根猛議員

定数を削減することに
よるメリット・デメリッ
トがある。人口比率から
いって12人は決して多い
人数ではない。若い人に
出してもらうことを考える

と削減しないのも一つの
方法だと思う。

● Yさん

今平田町の行政区は18
行政区。人数の多少はあ
っても一人の議員が2つ
の行政区を見るとすると
約半分の10人で良いので
はないか。

● 関根猛議員

皆さんの意見も参考に
しながら、議員定数につ
いても協議検討を進めて
いきたい。



ジュピアランド屋外ス
テージについて

● Sさん

2億円をかけて何をす
るのか。計画性はないの
か。

● Yさん

利益を追求しないで運

営することは大変なこと。
そうすればまた村から支
出すようになるのだと思
う。年に数回しか利用し
ないものに2億円を投じ
るのであれば、サウナや
グランピングの方が集客
があるのではないかと。利
益を求めないとしても
人を集めなければ施設が
活用されない。芝桜を見
ながらサウナやグランピ
ングの方が人を呼べるの
ではないかと思う。

● Kさん

翠ヶ丘公園はPFI事業
で(公募設置管理制度)
を使って(株)あおいが
温泉施設とカフェを運営
している。最近では、開
成山公園はarukuが
出店業務を請け負ってや
っている。

今回ステージを造るに
あたり営利目的ではない
ということだが、その施
設を維持管理していくた
めには、ある程度の利益
の固定が必要だと思う。
PFI事業を使ったり、
民間に委託するという考

えはないのか。現在公社
化されているのでそれが
使えるかどうかは別とし、
今後のジュピアランドの
在り方として。

● Yさん

サウナやキャンプ場な
ども使い方の一つ。私も
いろんなところでジュピ
アランドの芝桜、あじさ
いゆり園について、あの
ような施設があつていい
よねと言われることが多
い。しかし、地元の人が
使いたい時に使い方がわ
からないとか、料金が発
生するとか、窓口はどこ
かなど、ハードルが高い。
やはりイメージ的に村の
施設とされているところ
からだと思う。

フリースペースとして
のジュピアランドの利活
用は、議会も含め村民を
交えて話し合いの場があ
れば。せっかくある施設
を使わないのはもったい
ない。まずは使っていく
ことが重要。

● 関根猛議員

皆さんからの意見を参

考に、今後議会において
問題提起していく。

※ジュピアランドに計画
されていましたが野外ステ
ージにつきましては、以
下のとおり取り止めにな
りました。

『令和6年第4回議定
例会 村長の行政報告よ
り』

ジュピアランドひらた
に計画しておりました産
業振興施設(野外ステー
ジ)につきましては、概
算工事費の算定の結果、
資材価格や人件費の上昇
に加え、本体以外の付帯
工事にも多額の費用を要
することになり、コスト
削減も検討しましたが、
当初予定した事業費に収
まることは困難であると
判断し、建設の取り止め
を決定させていただきま
した。

小平中学校跡地について

● Yさん

石川町では廃校の小学
校を学法石川高校の寮と
して活用した。小平中学

校は上のグラウンドがパークゴルフ場として整備されたので併用しての活用は出来なくなった。体育館はミニバスとかでも利用していた。企業誘致といっても長期的には難しい。取り壊してしまうのでは小平地区に何もなくなってしまうという意見もあるが、個人情報の意見として平田村は一つとして考えて欲しい。とい

●Kさん

一過性のものでも人と呼べると思うが、利活用として考えるのならば長期的に考えなければならぬ。設備投資したとしても利用客がいなければ投資の意味がない。であれば解体ありきで更地の方が利活用も可能である

●佐藤孝雄議長

使えないものを修繕しようとなると多額の費用が必要。古いものに対して投資するのはどうなのかも含め考えている。

●関根猛議員

石川町は、学法石川高校が廃校を寮として活用したのは成功した事例。

以前西山小学校を業者に貸し出したが、トラブルが発生した経過もあった。なかなか踏み切れないというのもある。

また、実際に廃校が使えるのかどうかは実際に

見てみないとわからないので、担当課に説明を受けてから検討しようと考えている。



《要望》

●Eさん

解体費用も年々上がってきている。期限を決め利用者等の募集をし、応募がなければ解体するというように決め、ある程度の方向性は決めてしまっても良いのではないかと。6月議会の一般質問で

ドクターヘリのヘリポートをとという質問があった。パークゴルフ場も整備されたこともあり、あの場所をヘリポートとして整備してはいかがかと考える。ドクターヘリの離発着場所があるおかげで助かる命があるのであれば整備してもらいたい。

《要望》

●Eさん

かなと。現在のハレスコは狭いシャワー室が2つ。サウナ等があればハレスコの利活用が円滑になるのではないかと。ジムがあるのであればそういった使い方をすれば多いと思う。

地元企業として、ハロワーク等の就労支援事業で、障がい者雇用に対する助成金等はある。小規模事業者ではなかなか人数的に難しい。一人に

対しての負担が大きくなる。ただ、村内企業の利活用ということであれば、村からの支援事業として地元企業で障がい者を雇用した場合、厚労省の事業にプラス地方自治体からの支援があつて、働きやすい環境を作るとい

うことをやってもらえるのが一番いいのではないかと。議員の皆さんから是非そういった声を上げていただければと思う。人手が足りない企業は

いっぱいあるので、雇用したいというところもあると思う。そういう地元企業は行政の力を借りないといけない。地元採用を増やしていかなければならないというのは企業努力だとは思う。

【上北方・下北方福寿会】

令和6年11月12日

人口減少対策について

●Sさん

村の人口減少対策についてお聞きしたい。

●関根猛議員

人口減少は喫緊の課題。平田村は年間150人程度減少しているの、このままでは大変なことになると思う。

村側の答弁は、(6月・9月定例会一般質問村答弁)

○ホームページを使って、住まいや子育て支援に関する情報発信をしている。○県主催の相談会や東京都の「ふるさと帰郷センター」にもPRコーナーを設け情報発信に努めている。

○移住定住のパンフレットは作成していないが、観光パンフレット等でPRを行っている。

○移住定住に特化したパンフレットの作成費用を補正予算に計上している。○パンフレットができたから、村内事業所にも配布し、本村支援事業についてPRしていく。

以上が村側の答弁であつたが、人口減少対策は、他の自治体も課題となつている。これから村に提言していく。

農業問題について

●Sさん

今年についてはコメ農家が少し潤った。後継者不足でこれからの農業を

どうするかという問題。
議会と農業委員や推進委員との懇談会は開催しているのか。

●佐藤孝雄議長

私が議員になって17年目だが、農業委員や区長会等の懇談会は今までなかった。

《提案》

●Sさん

遊休農地の解消、活用について考えてもらいたい。遊休農地を村が買い上げて何年か耕作すれば譲渡するというような。村は県内で初めて新規就農者受け入れを実施したが、現在残っている方は1名。農業を続けることは簡単なことではない。せっかく農地があるのだから活用しない手はない。農業委員会とも話し合ってみてはどうか。農業委員会主催の集落座談会が開催される。各行政区においてこれからの集落営農等について話し合い、いろいろな意見が出た時に、それが村に上がって

こない又何にもならない。そういう機会に連携を取り合ってやっていただきたい。

《要望》

●Yさん

イノシシが出て、農作物、特にさつまいもが全滅。大変困っている。駆除をお願いしたい。

道の駅駐車場拡張について

《要望》

●Sさん

駐車場が狭くて女性では停めるのが難しいという話を聞いた。

ジュピアの芝桜と道の駅はセットであるので、せっかく芝桜を見に来た時に入れないのでは問題である。村の観光を伸ばすため、ジュピアを良くすること、併せて道の駅で買ってもらったための施策は村の活性化につながるのかと。

●Kさん

道の駅駐車場の植木の植え込み部分を撤去し、

平らにならせば止められると誰もが考えていることだと思うが。あともう少し土地を広げるべきではないかとも思う。

●佐藤孝雄議長

村は財源なのだからと言っている。国からの補助がもらえるような事業を探しながら検討しているということ。

植え込みの撤去等については、皆さんの意見として伝えたい。

中山間交付金について

●Yさん

今年度で終了するが、また来年度もあるのかどうか。

●上遠野廣一議員

次年度も継続される。

●Yさん

継続になるとのことであるが、高齢化が進んでおり5年契約では難しい。その団体から個人的に一部抜けることは可能なのか。

●関根猛議員

多面的機能支払交付金

事業も5年間計画であるが、途中で対象面積が減少すれば、当初に遡って返納しなければならない。中山間も同じではないかと思うが、後日確認しお知らせする。

移動販売車について

●Mさん

小平には商業施設がない。買い物に行きたくても足がなくて困っている。週に1回でも買い物できるような支援があれば。

●遠藤正彦議員

今小平を中心にそういった声が上がっている。議会としても必要性は感じており、方向性としては実施方向に持っていけると思っている。

高齢者の移動手段について

●Mさん

病院等に行くにも足がない。交通手段がないという話を聞く。

●高橋七重議員

いろんな議員から高齢

者の移動手段については、乗合タクシーやデマンドタクシーとか何とかして足を確保しなければいけないと提言している。しかし村は費用対効果の問題があると言っている。近隣町村では利用者の多少に関係なく実施している。議会としては多くの皆さんからの声を村に上げていきたい。

●Sさん

タクシー券助成について、村ではタクシーが1台しかない。蓬田はすぐ来るが、小平には頼んでもなかなか来ない。何で1台しかないのか。

●Kさん

タクシーを呼んだが1台しかないので使えなかった。また、郡山の病院に行くために何日も前から予約していたが、1日4,000円しか使えないとのことでは使えなかった。

●高橋七重議員

1人で使用すると上限4,000円なので、村

からは複数人での使用も可能だとの説明があった。しかし、利用する側の都合があるのでなかなかうまくいかない。この制度ができてもう7年が経過するが、利用者が増えていかないうちで不便なところがある。改善の必要があるのではないかと言っている。タクシー助成券に使っている費用を乗合バスや巡回バスに変えて行くべきではないかと提案しているところ。

